

OMC事務局 〒560-0085 豊中市上新田4-16-1-33 合原 一夫 TEL06-6833-9227  
 広報編集局 〒573-1171 枚方市三栗1-18-20 前田 茂夫 TEL072-850-5781

<http://www.ne.jp/asahi/smaeda/12/>

平成14年11月(2002年) No. 443

## OMC映像フェスティバル 近年にない満員盛況で無事終了

去る10月6日、阿倍野市民学習センターで開催した第42回OMC映像フェスティバル2002は、会場に立見が出るほどの超満員の盛況ぶりでした。作品の内容も大変好評で大成功だったと思います。これも会員諸氏のご協力と作品づくりのご努力の賜物と深く感謝いたします。さて、1年はすぐに過ぎてしまいます。これから来年の発表会めざし、あらたな作品づくりを始めようではありませんか。

■祝電を頂戴した方々：日本(アマ)映像作家連盟会長・加藤雅巳様、同事務局長・川上勝晤様、中国映像連盟理事長：松原博臣様、東京映像会長・渡会猛様、神戸映像会員一同様、明舞ビデオ友の会様、映像銀の会様、ビデオサークル紀南会長・辻明男様、吉岡映像設計事務所代表・吉岡博臣様  
 ■金一封を頂戴した方々：萩巢 勲様、越本宏子様。有難うございました。

### 12月例会から梅田学習センターの予定

11月例会は第4土曜が祭日で夜の貸室はありませんので、第5土曜日に会場を確保できた難波の市民学習センターで行います。お間違えのないように願います。

さて例会場が手狭になったことと土曜にイベントで会場が借りられない月が多い等の理由で、阿倍野から難波か、11月末から開場できる梅田の第2ビルに移るかという課題に対し、検討を重ねてきた結果、将来の新会員募集のことや会場予約の確実性(部屋数が多く広い)等、多角的に考えて梅田の方がよいのではとの考えを持っています。唯、会場設備の点で課題がありますので梅田の開場を待って確認の上、方向づけを行います。

11月例会(第5土曜)で検討結果をご報告いたします(合原)。

### 11月例会は第5土曜日難波で開催

先月号で予告した通り11月例会は第5土曜30日18時より難波市民学習センター(OCATビル4階)にて開催します。多くの方のご参集をお待ちしています。作品の方もどうぞお持ちください。

## 作品研究会レポート

3ヶ月ぶりの作品研究会は、例会日の午後1時30分より阿倍野市民学習センターにて開催、出席者11名と作品7本、参考作品2本で充実した研究会となった。

■出席：石垣、江藤、江村、河合、合原、関、進藤、藤原、増池、安居の11氏。

### ■上映作品

#### 1) こいや祭り 増池 茂さん 5分40秒

本場の高知よさこい祭に続けと始まった浪花版よさこい祭の「こいや祭」も年々盛んになってくるようだ。道頓堀中座前で、北海道から来た若者達が前夜祭で踊る。

続いて大阪城前の広場で踊るが、これはステージが主。こういうステージを中心とした踊りを、どう作品にまとめるか、ひとしきり話題と意見の交換が続いた。

#### 2) 彫刻 安居利次さん 3分30秒

恒例の鞆公園での「花と彫刻展」を早速撮影してこられた。パソコン内でエフェクトを使ったりして細工されているが、少し使いすぎでは？との声が出た。研究会らしく、突っ込んだ意見や感想の交換が行われた。このところ安居さんは新しい試みに色々と挑戦されていて、話題提供されるのがうれしい。

#### 3) 花と彫刻展 増池茂さん 6分50秒

これも鞆公園での花と彫刻展で撮影されたもの。高さ40cmの三脚に単焦点で撮った由だが、それだけに変化にとぼしく単調になった。相手が動かないだけに、やはりズームとかパンニングとかティルトイングとかで変化をつけないと単調すぎる作品になってしまうという作例として研究会のよき教材となった。

#### 4) 彫刻 安居利次さん 4分35秒

本日2本目の花と彫刻展関連の作品。こちらは素直にまとめられてある。ただ、作者のねらいや言いたいことが散漫になったことが指摘された。作品には何を主張したいか、何を訴えたいのか、まず、はっきりとさせて構成すべきだ、との点でいい勉強になった。

#### 5) 幻の花を追って

河合源七郎さん 13分53秒

中国・四川省へ、モッコーバラという花

の原種を求めて訪ねられたときの記録。撮影だけが主目的ではないので、肝心のカットがよく撮れていないとのことだが、この作品の山場は、幻の花に出会ったときの感激である筈。それが作品構成のまずさで生かされていないのが残念。一般向け作品の場合は撮影順序は変えても良いから、作品のねらいを強くアピールできる作品構成を心掛けたい。そういう意味で良き教材となった。貴重な記録だからぜひ再編集を……。

#### 6) 霧 江村一郎さん 8分30秒

江村作品には見る前から何か期待をしてしまう。今回は大台ヶ原の霧の林をメインに据えたが、ラストに道頓堀の水玉模様の水面模様で終わったし、途中も都会の雑踏を入れておられ、聞けば、静と動との対比を描きたかったと。だが、どうも素直に受け入れられないという意見が多かった。格好の話題を提供して頂き、結構楽しかった。

#### 7) 高原のうた 進藤信男さん 8分37秒

霧が峰高原、美ヶ原高原を山仲間と共に行かれたときの登山の記録。山登りの作品は、撮る人は人一倍しんどい思いをしなくてはならずご苦労様と云いたいところ。中央アルプス、北アルプスの遠望が素晴らしい。ニッコウキスゲやイブキトラノオ等の花のアップも適当に挿入されていていい作品に仕上がっていた。ナレーションのあるところはBGMのレベルをもっと下げるべし等とのアドバイスがあった。

### ■参考作品上映(田村尚男作品集より)

東京の山岳映画サロン所属のベテラン映像作家、田村尚男氏の作品2本を参考作品として上映した。氏の作品は映像がとにかく綺麗という定評がある。

#### 1) 帰ってきた貴婦人 10分

SL「ばんえつ物語号」C57を徹底的に追っかけて撮影されている。SLファンならずとも、美しい映像にはすっかり魅せられたものがあった。

#### 2) 山からの便り 15分

四季折々の各地の山の映像をまとめた氏の山岳映像の集大成とも云うべき作品。霧水のある樹林や、冬山にライチョウと共に登るシーンなど美しくまとめられている。

## 10月例会のレポート

秋の行楽季節で旅行者が多いのか第3土曜への変更のせいか集まりが今期最低の22名に留まったが、作品は9本出でまずまずの例会となった。司会は関氏、書記：安居氏、機械担当：河合、増池両氏、受付：良枝さん。

■出席者：今井、江藤、江村、岡本、奥、河合、合原、進藤、関、中尾、華岡、藤原、前田、増池、松本、森口、森、森田、石垣、安居夫妻、渡辺の22氏（敬称略）

### ■ 上映作品

（今月の短評は安居世話役です）

#### 1) 往年の岸和田まつり

8分10秒 増池 茂さん

前回出されたものを、「もっといいシーンもあったやないか」と岸和田だんじりに詳しい前田さんに言われて再編集したすばらしい作品。25年前の8mmフィルムを前田さんの手を借りてテレシネにしてから編集された事は前回での講評でも述べられていました。今回、やりまわしのシーンを加えることで一層盛りあがりました。当ても数年間何回か撮られたようですが、最近ではプロでない限りこんなに多くのカットを揃えることは不可能におもわれます。前田さんから「やりまわしの前テコのシーンはアッという間だから、スローにしたらもっとよかったのではないか」と言う助言がありました。

#### 2) 大雪山天高く

7分 森口吉正さん

聞くところによればツアーで行かれたとか。普通、ツアーの場合時間がなく三脚を立てて撮る余裕は全くないものですが、それをばっちり三脚で大雪山の山々をお撮りになっているのには、感服しました。やはり遠くの山々も「天高く」とタイトルがつくと安定した画面でないとするものが納得しないものです。いつもの森口調ではなくバスのガイドさんのおしゃべりで、締められたのも、ご本人が「観光ビデオ」を言われる配慮かも知れません。琵琶湖の3倍もある大雪山の雄大さを表現するにはこの方法もかえって効果があるように思いました。北海道は広いなと言う実感です。

#### 3) 夕焼け

4分35秒 安居 良枝さん

ナレの高音が出ていなく聞き取りにくいのとビデオ素材の使い過ぎで流れがおかしいという指摘でやりなおした作品です。夕焼けは人の思い出を回想しやすい環境と司会もいわれました。しかしO'CATの屋上にこだわることなく他の夕焼けも活用すれば、カット不足も解消されて表現も豊かになるのではという意見。本人は夕日をあびたゆれるすすきの感動に今もこだわっているようです。本人は「ビデオ素材を使っても、見ている人にそうであると思わせない使い方をやらなあかん」と反省していました。

#### 4) サンタマリア号

6分22秒 安居 利次さん

船から見える夕焼けは建物、橋、船と硬いものばかりで、女の夕焼けの映像ではないと言う理由で、筆者に題材のお下がりが回ってきました。司会も指摘されたように批判的安居調にはカット不足、将にその通りでお下りの題材にあとから理屈をつけるのは大変です。一貫して絞れませんでした。研究会の彫刻もそうですが、ロケハンで大体をみてきてからもう一度絞るのしぼったものを撮りに行かないと中途半端なものになってしまうとつくづく思いました。PCのフィルターのかけ過ぎも不自然になります。反省！

#### 5) YOSAKOI 2002

8分10秒 江村 一郎さん

前月の「2002 よさこい」に比べて格段によかったと思います。夜に統一した事。したがって地車トラックの強力なバックライトの逆光を大胆に利用しているカットがすごく印象的でした。どちらかといえば前回はスローカットが多くアップはよく撮れていましたが、カット間の関連があまりよくなくぶつ切れの印象が少し残りました。今回は全体を通して流動感で貫かれよさこいの流れがよく伝わってきました。その中にも汗まみれの顔のアップが半逆光に短くインサートされているのが効果的でした。筆者ももう一度行って撮ってみたいという気を起こさせるすばらしい作品です。江村さんみたいに撮れませんが…

## 6) 平遥古城

8分43秒 河合源七郎さん

北京から特急列車で9時間、更に自動車  
で2時間、平遥古城の位置です。世界文化  
遺産に指定されているのに、外国人の観光  
客の姿は殆ど見ないというのです。交通の  
便が悪いからなのでしょう。それだけ民・  
清、時代の古城の街は異国情緒に満ちてみ  
ていて興味津津でした。沿岸部の上海など  
と違って30年前の日本の面影が人々の様  
子からうかがえました。世界の観光名所よ  
り、ひっそりと歴史を受けついできた山西  
省の古城が光っていました。メインストリ  
ートでおこなわれる楽隊つきの陽気なお葬  
式、パトカーに先導されたトラック上の罪  
人、それは江戸時代日本でもあった市中引  
きまわしの光景そのものでした。研究会に  
出された「幻の花を追って」四川省まで行  
かれた河合さんならではの視点にもとづく  
ビデオ記録だと思います。

## 7) 水車の季節

6分 合原 一夫さん

九州、福岡県筑後平野、朝倉町の水車の  
風景だけでまとめられた風物詩。筑後川の  
分流からこの穀倉地帯へ水を供給するクリ  
ーンなマシーンが江戸時代から受け継がれ  
ているといいます。わずかな水の落差で水  
車を回し、ついでに細かく分けた水筒で水  
をあげ、田に供給するという仕組みに感心  
しました。6分間の大半をその水車のカット  
だけで持たす構成もすばらしいです。二  
連、三連の水車の単純な構造を微に入り細  
に入りアップで撮られています。これに  
水の動きがからんでいるから見ていてあき  
ないのだろーと思いましたが。これを見てい  
ると足踏みで水をくみ上げていたあの農村  
風景がばかしくなってきました。

## 8) 思い出の料亭「やまぐち」

10分45秒 藤原 純三さん

由緒ある料亭が時代の波に抗しきれず壊  
わされます。華やかなりし料亭の内部を記  
録として撮影を頼まれた藤原さんが、教科  
書通りの模範的撮影技術で仕上げられたす  
ばらしい記録映像です。老女将がなくなる  
前に見せられたという事は本当に藤原さん  
も良いことをされたと思います。華やかな  
老館の裏の部分、床下や地下室を覗きふと

昔の郷愁がよぎりました。しかし都会でこ  
の部分を抱えこんだ料亭の経営は無理なん  
でしょうね。余分な土地はマンションとし  
て、料亭は5階建ての合理化された能率的  
なものでないと生きのびえないのだからこ  
とを再建「やまぐち」の映像を見てつくづ  
く思いました。

## 9) サイパンで潜る

9分40秒 森田 光春さん

水中撮影を今までにたくさん見せていた  
だきました。今日のは水深10mから15  
mとのことです。10mで1気圧、体全体  
がその水圧でおされるのですから、体が細  
くなる感じがすると本人の弁。水はきれい  
でも20m以上では光りがはいらないので  
色がなくなりますが今日のは「天然色」の  
魚が随所に見れました。直接空気を吸って  
地上で生きている私達人間が水中を泳ぐと  
なれば大変です。若い連中ならともかく良  
く違う環境についていけるなど驚きまし  
た。森田さんは若い時から潜っておられ、  
さらに最近は海外で潜る為にインストラク  
チャの資格もお取りになったとか、本格的  
なんだと感心しました。

## 10) 花と彫刻展

6分50秒 増池 茂さん

今年のうつぼ公園の花と彫刻展の様  
を紹介されたものです。しかしただの紹介ビ  
デオに終わることなく、地上40cmの高  
さにカメラを固定、2-3のチトル以外  
はその位置での撮影を固守されました。面白  
いカットもありましたが、紹介ビデオとす  
れば違和感があります。これを機会に今年  
ももう一度行って作品にまとめるのも面白  
いですが、一番難しい題材です。

以上で例会を終了し、いつものように喫  
茶組と、お酒組とに別れて二次会へと席を  
移した。

### ■今月のインターネット作品

河合源七郎作品 「平遥古城」です。

### ■マーケット（譲って下さい）

DV デッキをどなたか格安で譲ってくだ  
さい。（岡本至弘さんより）

### ■インターネット情報

ネット版ニュースをご覧ください。

### ■投稿のお願い

紀行、随想等、投稿お願いします。